

地球を
守ろう！！



「シーナ」

一人ひとりの
力をつなぎ
ましょう♪



「かれん」

オール東京 62 市区町村共同事業
「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」共同宣言（原文）

かけがえのない地球を守ろう ～一人ひとりの力をつないで～

私たちの暮らす東京は、人口 1,280 万人を抱える世界有数の都市でありながら、多摩の山並み、武蔵野の雑木林のみどり、伊豆諸島・小笠原諸島周囲の美しい海原など、多様な自然環境を有しています。

一方、東京は人口や経済活動が集積し、資源やエネルギーの大量消費地として CO₂ の大量排出、ヒートアイランド現象、森林の荒廃、海洋汚染などさまざまな環境問題にも直面しています。

特に暮らしと密接な関係にある CO₂ は、オフィスや家庭でのエネルギー消費量が増大し、京都議定書の発効から 2 年が経った現在でも、削減の兆しが見えない危機的状況にあります。

今こそ、私たちは、地球環境問題の被害者であり加害者でもあることを改めて認識し、一人ひとりの力をつないで、東京そして地球の環境を守るため、できることから行動するときです。

東京 62 市区町村は、かけがえのない地球を守るために、連携・共同して「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」を展開し、次の行動を起こすことを宣言します。

- 一、 CO₂ 削減につながる活動の普及に努め、省エネルギーの促進、温室効果ガスの排出抑制を図ります。
- 一、 みどりの保全と地球温暖化防止対策を推進するための連携体制を構築します。
- 一、 人々が、環境を考え、行動できる場を作ります。

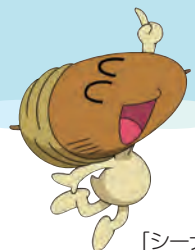
2007 年 10 月 3 日

環境を考え、
行動しましょう！



「かれん」

CO₂
削減！！



「シーナ」

オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」とは

オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」は、「地球温暖化防止特別区共同事業」と「市町村共同事業 みどり東京プロジェクト」を一体化し、東京の自然環境の保護、地球温暖化の防止を目的に、平成 19 年度にスタートした事業です。

「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」は、平成 19(2007)年 10 月に発表した「みどり東京・温暖化防止プロジェクト共同宣言」に基づき、東京の 62 市区町村が共同してさまざまな事業に取り組んでいます。62 市区町村の共同の輪を大きく広げることによって、各自治体や地域の特性に応じた自然環境の保護、地球温暖化対策を推進します。また平成 21(2009)年 2 月には、「レジ袋削減に関する共同アピール」を発表しました。

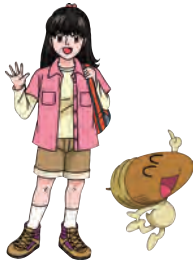
平成 21 年度「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の取り組み

共通啓発物品等の作成・配布

「シーナ」のぬいぐるみ



画像素材集



環境アニメーション「かれんと不思議の森」に登場する「シーナ」のぬいぐるみと「かれん」・「シーナ」の画像素材集を作成し、各市区町村に配布しました。

街路灯省エネ効果 PR リーフレット



街路灯の省エネ化を推進するために、商店街及び自治会・町会等における街路灯省エネ化の状況を調査し、その結果と事例の一部を紹介するリーフレットを、配布しました。

温室効果ガス標準算定手法の共有化推進

区市共通版温室効果ガス標準算定手法により、区・市・町の温室効果ガス排出量を算定し、公表しました。

省エネチャレンジ



フィナーレ・イベント (表彰式)

都内の 58 小学校、2,695 名の児童が参加して、平成 21 年 11 月から 12 月に家庭で環境負荷低減活動に取り組みました。

レジ袋削減キャンペーン

「レジ袋削減に関する共同アピール」に基づき、ポスター、ラジオ、WEB、トレンチャンネル等を利用し、レジ袋削減に向けた普及・啓発を実施しました。

ホームページ

「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」のホームページに、本プロジェクトや各市区町村の環境イベント等の情報を掲載しました。

市区町村職員共同研修



「カーボン・オフセットを考える」と「生物多様性の保全に向けた自治体の役割」をテーマとした研修を実施しました。

カーボン・オフセットの研究

基礎自治体における取り組み事例調査やアンケート調査を行い、基礎自治体によるカーボン・オフセットへの関わり方、意義・効果などを検討しました。

みどり東京・温暖化防止プロジェクト助成金交付



花いっぱい事業

各市区町村が実施する自然環境保護、地球温暖化防止対策事業に対する助成金として、150 万円を交付しました。

みどり体験交流事業



平成 21 年 6 月から 10 月に、子どもたちが東京都内の様々な自然にふれあい、楽しみながら体験し、森との関わりや都会の中の水と緑の大切さを学びました。

みんなで環境を考える共同行動の実施



平成 21 年 12 月 17 日に、次世代を担う子どもたちと一緒に、今後の CO₂ 削減の道筋や進め方を考えるシンポジウム「低炭素社会構築に向けた取り組みと今後の課題」を開催しました。

平成 22 年度事業の概要

CO₂ 削減につながる活動の普及・省エネルギーの促進・温室効果ガスの排出抑制

■みどりの保全・地球温暖化防止に向けた普及・啓発の推進

- 62 市区町村に共通啓発物品としてのグリーンカーテン用のタネとパンフレットを配布し、本プロジェクトの周知を図ります。

■都内区・市・町の温室効果ガス排出量算定手法の共有化推進

- 区市共通版の標準算定手法により、都内区・市・町の温室効果ガス排出量を算定し、公表します。

■レジ袋削減キャンペーン

- レジ袋の削減に向けて、啓発用ポスターの作成や WEB ページ・メディアの活用、企業等との連携などのキャンペーンを実施し、各市区町村の取り組みの効果を高めます。

みどりの保全と地球温暖化防止対策を推進するための連携体制構築

■各団体の実施する事業との連携

- 62 市区町村の実施する環境イベント等と連携した取り組みを行います。
- 「チャレンジ 25 キャンペーン（旧チーム・マイナス 6%）」等との連携を図ります。

■「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」ホームページの充実 <http://all62.jp/>

- 62 市区町村の連携をさらに深めるため、事業や活動の紹介等、関係情報の充実を図ります。

■市区町村職員共同研修の実施

- 職員研修所等と連携し、専門的な知識を修得する「カーボン・オフセット研修」と「森林セラピー体験研修」を実施し、各市区町村のみどりの保全や自然環境保護及び地球温暖化防止施策の向上を図ります。

■カーボン・オフセットの研究

- 平成 21 年度に実施した基礎自治体におけるカーボン・オフセットの可能性についての研究結果を踏まえ、具体化を図れるよう更に研究を進めます。

人々が、環境を考え、行動できる場の設定

■みどり東京・温暖化防止プロジェクト助成金交付

- 62 市区町村がそれぞれ実施する、みどりの保全・地球温暖化防止に関する事業に対して、1 市区町村 150 万円を限度として助成します。

■みどり体験交流事業助成金

- 市区町村が実施する、都内在住の小学生を対象にした、東京の自然を体験する環境教育事業に対し、助成金を交付します。

■みんなで環境を考える共同行動の実施

- 企業や学校、地域関係団体等の環境に係る取り組みについて、それぞれの活動を魅力的に応援するため審査会（コンテスト）を実施します。発表の場等を設ける事により、「みんなで環境を考える」機運および活動の質を高めます。

■（仮称）共同行動参加システムの実施設計及び構築

- 誰もが、いつでも、環境負荷低減活動等の共同行動に参加できる場を、インターネット上につくるための詳細設計および構築を行います。

レジ袋削減に関する共同アピール（原文）

現在、日本では国民1人当たり年間約300枚のレジ袋を使用していると言われており*1、東京都内では39億枚も使用していることとなります。このレジ袋の製造から焼却の過程で排出される二酸化炭素*2は、一般家庭3万5千世帯が1年間に排出する量に相当し*3、これを吸収するためには、1,300万本の杉の木が必要となります*4。

これだけの量のレジ袋を今すぐに無くすことは大変難しいことですが、住民一人ひとりがレジ袋削減の意義を知り、意識を変え、行動することによって、多くのレジ袋を減らすことができます。こうした行動は、レジ袋の削減だけにとどまらず、自分自身の生活習慣を見直す契機となり、ひいては地球環境の保全や地球温暖化防止のために何をすべきかを考え、行動していくことにもつながります。

東京62市区町村は、レジ袋削減に共同で取り組み、各市区町村が地域の实情に応じて次の行動を起すことを宣言します。

- 一、レジ袋削減に向けた社会的気運を高めるため、積極的に普及・啓発を行います。
- 一、住民、事業者と共同・連携して、地域の实情に応じたレジ袋削減の取り組みを進めます。
- 一、レジ袋の削減をきっかけに、自然環境の保全と地球温暖化防止の取り組みが広がるよう働きかけていきます。

2009年2月9日

*1 経済産業省「なつく、知つく3R」：1枚10gとして国民1人当たり年間300枚のレジ袋を使用

*2 社団法人プラスチック処理促進協会：1枚10gのレジ袋の製造・焼却で46.55gのCO₂を排出

*3 全国地球温暖化防止活動センター：一般家庭1世帯当たり約5.2tのCO₂を排出

*4 林野庁試算「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」：杉の木1本当たり年間約14kgのCO₂を吸収



オール東京 62 市区町村共同事業 みどり東京・温暖化防止プロジェクト

主催 / 特別区長会 東京都市長会 東京都町村会

企画運営 / 公益財団法人特別区協議会 財団法人東京市町村自治調査会

千代田区 中央区 港区 新宿区 文京区 台東区 墨田区 江東区 品川区 目黒区 大田区 世田谷区 渋谷区 中野区
杉並区 豊島区 北区 荒川区 板橋区 練馬区 足立区 葛飾区 江戸川区 八王子市 立川市 武蔵野市 三鷹市 青梅市
府中市 昭島市 調布市 町田市 小金井市 小平市 日野市 東村山市 国分寺市 国立市 福生市 狛江市 東大和市
清瀬市 東久留米市 武蔵村山市 多摩市 稲城市 羽村市 あきる野市 西東京市 瑞穂町 日の出町 檜原村
奥多摩町 大島町 利島村 新島村 神津島村 三宅村 御蔵島村 八丈町 青ヶ島村 小笠原村

みどり東京・温暖化防止プロジェクトホームページ <http://all62.jp/>

この事業は、公益財団法人東京都区市町村振興協会からの助成金により実施しています。